

(1) 事業名 <small>※事業名称がある場合</small>	小学部・中学部 校外学習と避難訓練
--------------------------------------	-------------------

(2) 実践報告 ※11ポイント、明朝体で枠内に収めてください。

実施内容及び 児童生徒の様子	<p>(1) 当初、「まちから」の見学は、当校の児童生徒には難しく、理解が困難ではないかと心配された。しかし、映像の活用、紙芝居の利用、非常用ビスケットの試食、身近かな物で身を守る(ビニール袋でマント)工作など、児童生徒の実態に応じたプログラムを準備していただき、真剣な態度で見学し、体験することができた。</p> <p>(2) 事前学習では、児童生徒の実態に応じて新潟県防災教育プログラム(地震災害編と原子力災害編)を活用した。津波や放射線への理解を深めることができ、一層真剣に避難訓練に参加できるようになった。</p> <p>(3) 地震・津波・原子力防災を想定した避難訓練を「まちから」の見学と関係づけて実施することで、非常時の避難の重要性を感じながら例年より長い時間の訓練に落ち着いて参加する児童生徒が多かった。</p> <p>(4) 避難訓練の事後指導として、中学部Aコースの生徒は柏崎市防災原子力課原子力安全係関矢様から避難の仕方についての指導や、避難の時の注意事項について話を聞き、避難の大切さについて改めて学んだ。</p>
成果と今後の課題	<p>(1) 来年度は2年目にあたり、新潟県防災教育プログラムの利用を工夫したり、「まちから」を一層活用したりして、繰り返し地震・津波・原子力災害の恐ろしさを学ぶことで、避難訓練に結びつけていきたい。</p> <p>(2) 来年度に延期となった「原子力防災工事」と関連を図りながら避難訓練を工夫し、ふるさと新潟防災教育を推進していきたい。</p>

実践の様子



↑避難の仕方を学ぶ紙芝居に集中している児童



地震によりできた段差に驚く生徒→

※ 実践した際の写真を2～3枚貼り付けて、簡単なキャプションを加えてください。(キャプションの文字サイズは任意)
 なお、写真はWebページ等での公開に支障がないものとし、提出の際には、データも別に添付してください。
 ※ 最終年の実績報告提出時には、「自校プラン」を添付してください。

3-② 実践報告書【学校報告用】

2年次／3年分

(1)事業名 ※事業名称がある場合	地域とのつながりを大切にした防災教育
----------------------	--------------------

(2)実践報告 ※11 ポイント、明朝体で枠内に収めてください。

実践内容及び児童生徒の様子	<p>①新潟県防災教育プログラムによる防災学習（「津波災害」「地震災害」「洪水災害」「土砂災害」「雪災害」「原子力災害」）の実施。</p> <p>②防災関係施設（おぢや震災ミュージアム、ながおか市民防災センター）利用による防災体験学習の実施。</p> <p>③保護者、地域向け防災教育講演会の実施。</p> <p>④児童生徒による学校周辺のハザードマップ作成。</p> <p>⑤引き渡し訓練や防災食体験などの防災拡大訓練の実施。</p>
成果と今後の課題	<p>事業2年目の今年は、年度当初から防災教育週間を設定し防災教育プログラム実施日を年間教育計画に位置付け、計画的に実施した。そのため、地域や児童生徒の実態に合わせた充実した防災教育を推進することができた。</p> <p>当校は、知的障害のある児童・生徒を対象とした特別支援学校である。そのため、防災施設見学体験や非常食体験、LED ランプを用いた停電体験など体験や映像を通じた学習活動が非常に有効であった。</p>

実践の様子

地域・保護者向け防災教育講演会



ながおか市民防災センター



防災拡大訓練実施



おぢや震災ミュージアム



※ 実践した際の写真を2～3枚貼り付けて、簡単なキャプションを加えてください。(キャプションの文字サイズは任意)
 なお、写真は Web ページ等での公開に支障のないものとし、提出の際には、データも別に添付してください。

※ 最終年度の実績報告提出時には、「自校プラン」を添付してください。